

第 61 回松本市民体育大会秋季大会 地区対抗競技実施要項

1. 主催 松本市・(一財)松本体育協会
2. 主管 第 61 回松本市民体育大会実行委員会
3. 期 日 平成 30 年 10 月 7 日(日)

※雨天の場合、野球は中止、ゲートボール・マレットゴルフは原則雨天決行。
(決定は午前 5 時 30 分)

開催の確認は、松本体育協会ホームページ又は下記へ問い合わせる。

問い合わせ先：大会本部 TEL 32-7056 (松本体育協会)

TEL 45-9511 (松本市スポーツ推進課)

電話問い合わせの場合は、各地区参加責任者・主将が代表して問い合わせ、参加チームへ連絡すること。(個人単位での問い合わせはしない)

4. 開 会 式 松本市総合体育館メインアリーナ
午前 7 時 40 分集合 午前 8 時開始 (上履き持参)
※総合体育館内は、上履きと下履きの区別を必ずしてください。
5. 実施競技 全競技 1 競技につき 1 地区 1 チーム以内の出場を認める
会 場 出場チームは 1 競技につき 35 チーム以内
開始時間 《卓 球》

午前 9 時 松本市総合体育館サブアリーナ

《軟式野球》

午前 8 時 30 分 (一部会場は午前 9 時)

松本市野球場

信州大学グラウンド

岡田運動広場

女鳥羽中学校グラウンド

あがた運動公園多目的広場

山辺運動広場

《ゲートボール 男子・女子》

午前 9 時 30 分 かりがねサッカー場

《ソフトバレーボール 40 歳以上・39 歳以下》

午前 9 時 30 分 松本市総合体育館メインアリーナ

《マレットゴルフ 男子・女子》

午前 9 時(受付 8 時 30 分まで)

信州スカイパークみどりの交流ゾーンマレットゴルフコース

男子 … かもしかコース

女子 … らいちょうコース

6. 表 彰

(1) 総 合 (会場：松本市総合体育館ロビー)

総合 1 位:優勝旗・賞状

総合 4 位:賞状

総合 2 位:準優勝旗・賞状

総合 5 位:賞状

総合 3 位: 3 位旗・賞状

総合 6 位:賞状

(2) 競技別 (会場：各競技会場)

1 位:優勝杯・賞状

2 位:賞状

3 位:賞状

卓球：決勝トーナメント・敗者復活各 2 ブロック

軟式野球：6 ブロック

ゲートボール：男・女別各 2 ブロック

ソフトバレーボール：年齢別各 2 ブロック

マレットゴルフ：男・女別各 1 ブロック

7. 競技規定

別紙（第61回松本市市民体育大会秋季大会地区対抗競技規程）

8. 審判員・補助員

地区対抗競技規程競技別事項の審判の項目による。

9. 採点方法

(1)団結点（開会式の参加人数によって次のとおり採点する）

50人以上	…10点	40人～49人	…8点		
30人～39人	…6点	20人～29人	…4点		
10人～19人	…2点	1人～9人	…1点	0人	…0点

※軟式野球の第1試合およびマレットゴルフの出場選手・審判員・補助員は団結点の人数に加算する。

(2)参加点 1競技出場ごと…10点

(3)競技点

《軟式野球》

1位…18点 2位…10点 3位…4点 4位…2点

《卓球》

○決勝

1位…18点 2位…14点 3位…11点 4位…9点

○敗者復活戦

1位…7点 2位…6点 3位…4点 4位…2点

《ゲートボール》

1位…18点 2位…15点 3位…13点 4位…5点

《ソフトバレーボール》

1位…18点 2位…14点 3位…12点 4位…9点 5位…3点

《マレットゴルフ》

1位…18点 2位…16点 3位…14点 4位～7位…12点 8～10位…10点 11位以下…5点

(4)雨天等中止競技の参加点と競技点について

雨天等で中止になった競技が発生した場合、出場を予定していたチームに次の得点を与える。

参加点 10点

競技点 競技を行った場合の競技点の総合計を参加チーム数で除した得点(平均点)

10. 総合順位

上記得点の合計で決定し、同点の場合は上位入賞(優勝・準優勝・3位・敗者復活戦[卓球]の順位で判定する)の多い地区を上位とする。

11. 参加料・保険料 無料

12. 申込み 所定の申込み用紙で(一財)松本体育協会事務局まで申し込む。

13. 申込締切 8月29日(水)

14. 主将会議 9月12日(水)午後7時 松本市総合体育館大会議室(参加地区へ別途通知)

第 61 回松本市市民体育大会秋季大会 地区対抗競技規程

共通事項

1. 出場資格

- (1) 松本市民であって、当該地区に居住するもの。ただし、学生・生徒(定時制を含む)は除く。
- (2) 年齢制限競技に適用する満年齢の基準日は平成 30 年 10 月 7 日とする。
- (3) 当日メンバー登録以外で出場する選手は、必ず第 1 回戦までに競技別競技本部で選手変更の手続きをすること。第 2 試合以後の選手変更は認めない。
その際、運転免許証等の住所・生年月日を確認できるものを持参すること。

2. 試合開始時間に遅れた場合と、登録選手以外の者が出場した場合は、そのチームを失格とする。

3. 無資格の扱い

- (1) 第 1 回戦の試合開始前に無資格者を発見した場合は、その選手を除いて試合を行なう。
- (2) 試合中に無資格者を発見した場合は、その試合を没収し相手チームを勝ちとする。無資格者有無の判定が困難な場合は、その試合を続けて行なう。
- (3) 無資格者を含むチームが勝者となっても、次の試合開始前に無資格者を発見した場合は前の試合を無効とし相手チームを勝者とする。また再試合は行なわない。
- (4) 大会終了後に無資格者を発見した場合は、そのチームの入賞は認めない。この場合、次点のチームを繰り上げる。

4. 競技開始時間

《卓 球》	午前 9 時
《軟式野球》	午前 8 時 30 分
《ゲートボール》	午前 9 時 30 分
《ソフトバレーボール》	午前 9 時 30 分 (コート整備が終了次第開始)
《マレットゴルフ》	午前 9 時 00 分 (受付午前 8 時 30 分まで)

5. ルールは、各競技別の現行の競技規則で行なう。

6. 競技場内の飲食は競技場のルールに従うこと。(別紙) 屋内会場では上履、下履の区別をする。

7. 大会本部は、総合体育館内に置く。 TEL32-7056

競技別事項

卓球の部

1. 競技種目 団体戦とする。(5 ダブルス・各地区 1 チームまで)
2. 競技方法
 - (1) 2 ブロックによるトーナメント方式 (3 位決定戦は行なわない)
 - (2) 敗者復活戦を行なう。(敗者復活 2 ブロック)
 - (3) 男女混成チームによる 5 ダブルス戦とする。
 - (4) 試合順序
 - 1 番:女子ダブルス
 - 2 番:合計 100 才以上男子ダブルス
 - 3 番:混合ダブルス
 - 4 番:合計 80 才以上女子ダブルス
 - 5 番:男子ダブルス
 - (5) ブロック決定戦・決勝トーナメント 1 回戦・敗者復活 1 回戦及び最初の試合のチームと対戦する場合は、最後まで試合を行い以後は、3 試合先取とする。
 - (6) 選手は、1 試合に 1 種目のみ出場することが出来る。
3. 参加資格

日本卓球協会(長野県・松本卓球連盟を含む)役員及び所属選手は出場できない。
但し、50 才以上の者を除く。
4. 競技規則
 - (1) 現行のラージボール卓球ルール(レクリエーションルール)により行なう。
(ラージボール 11 本 3 ゲームマッチ)
 - (2) 用具については、現行のラージボール卓球ルールで規定されたものを使用する。
 - (3) ユニホーム(上)はチームごと同色で統一する。(イエロー・オレンジは不可)
5. 試合球

ニッタク ラージボール球 (プラスチック製) とする。
6. 審判
 - (1) 主審は、原則として松本卓球連盟会員が行うこととするが、参加チーム数により相互審判制とすることがある。なお、準決勝・決勝は松本卓球連盟会員が行う。
 - (2) 副審は(カウンター係 1 名)対戦チームが交互に行う。
7. その他
 - (1) チーム編成は、監督・コーチ・選手合計 15 名以内とし、監督・コーチは選手を兼ねることができる。(但し、出場選手は 10 名以上であること)
 - (2) 所定のゼッケン着用のこと。(おおむね縦 18 cm・横 25 cmの布に、上段 2/3 に選手名 下段 1/3 に所属地区名を記入したもの)
 - (3) 選手変更は、当日開始前までに競技本部で変更すること。
 - (4) メンバー表は試合開始 30 分前に 2 部を本部へ提出する。ただし、第 1 試合は試合開始 15 分前までに提出すること。

軟式野球の部

1. 各地区1チームまでとする。
2. 全試合7回戦とする。ただし、1試合の試合時間は1時間20分を経過した場合新しいイニングに入らないこととする。その時点で同点の場合はジャンケンによって勝敗を決定する。なお、点差のコールドゲームは5回以降7点差とする。
3. ベンチは若い番号が一塁側とする。
4. 雨天の場合は中止とする。
5. 優勝はブロックごとに決める。したがって、優勝チームは6チームとなる。
6. ベンチに入る者は、監督・マネージャー・選手を含めて18人以内とする。
7. チーム内の同一背番号は認めない。監督は30番、主将は10番が望ましい。
8. 各会場とも到着したら、会場本部に申し出てメンバー表を受け取る。
9. メンバー表は定められた試合開始時間の30分前に3部を本部へ提出する。
10. 審判
 - (1) 球審及び決勝戦の審判は、軟式野球連盟審判員が行う。
 - (2) 塁審はチームより出す。
 - ・第1試合の塁審は、第2試合の若番チームから2名、老番チームから1名出す。
 - ・第2試合の塁審は、第1試合の勝者から3名出す。
 - ・第3試合の塁審は、第2試合の勝者から3名出す。
 - ・塁審を出さないチームは、原則として棄権扱いとする。
11. 競技規則は、現行の公認野球規則により行なう。
12. 金属バット、捕手マスクは、J S B Bマーク入りの公認用具を用いること。また、金属スパイクシューズの使用は認めない。
13. バッターとランナーはヘルメットを着用すること。
14. キャッチャーはヘルメット・プロテクター・レガース及びファウルカップを必ず着用すること。

ゲートボールの部

1. 参加チーム数と構成
 - (1) 各地区男女各1チームまでとする。
 - (2) チームは、監督1名と競技者5名以上8名以内で構成し、うち1名を主将とする。また監督については、男子チームは男子、女子チームは女子とする。
 - (3) 年齢は、満60歳以上とする。
2. 競技方法
 - (1) 男女別2ブロック制とし、予選はリーグ戦。決勝はトーナメント戦とする。
 - (2) 優勝チームは、男女各2チームとする。
 - (3) コートの大きさは、15m×20mとする。
3. 競技規則は現行の日本ゲートボール連合の定める公式競技規則に準ずる。
4. 審判
予選リーグは相互審判制とし、決勝トーナメントは専任審判員があたる。
5. 先攻・後攻
先攻・後攻は予選リーグ戦では、組み合わせ表の左側が先攻・右側が後攻とし、決勝

トーナメント戦は、トス又はジャンケンにより決定する。(但し、予選リーグ戦の第5試合以降の先攻・後攻はトス又はジャンケンにより決定する。)

6. ゲートボール用のスティックを使用し、ゼッケンは各チームで用意すること。

ソフトバレーボールの部

1. 参加チーム数と構成 (各地区2チームまでとする)

(1) 39歳以下の部1チーム、40歳以上の部1チーム。

(各チームは監督1名・選手男女各4名の計9名以内)

(2) 監督は選手を兼ねることができるが、選手は8名以内とする。

(3) 専任の監督は年齢制限を受けない。

2. 競技方法

(1) 各部2ブロックによる、予選リーグ戦・決勝トーナメント戦(3位決定戦は行わない)

(2) 各ブロックの優勝・準優勝・第3位に入賞した地区に、市長杯争奪球技大会の出場権を得る。

3. 参加資格 (公財)日本バレーボール協会登録選手は出場できない。ただし、ソフトバレーボールのみの登録選手は除く。

4. 競技上の注意事項

(1) ユニホーム等の服装については、原則として定めないが、チームごとに統一することが望ましい。

(2) 背番号・胸番号は、各チームで準備し必ず付けること。

(地区名を記入したもの)

(3) 監督およびキャプテン(主将)は、監督およびキャプテンであることが分かるものをユニホームにつけること。キャプテンマークは、腕章に代える事ができる。

(4) エントリーの変更は、構成メンバー表をもって行う。また、変更となる選手は住所・年齢を確認できるものを持参すること。

(5) 第1試合は開会式終了後、コートでの整備が終了次第開始する。

(6) 構成メンバー表は第1試合開始10分前までに本部へ提出すること。

(7) サーブオーダー表はセットごとに提出する。

(8) 優勝チームは、各クラス2チームとする。

(9) ベンチに入る者は、監督を含めて9名以内とする。

(10) 競技規則は、現行の(公財)日本バレーボール協会制定の『ソフトバレーボール競技規則』を準用する。

5. 審判

(1) 審判・補助員は審判担当チームの5名によって行う。

(2) 審判を担当する順序は、組合せ決定後別途通知する。

(3) 予選リーグ、決勝トーナメント全試合相互審判制とする。

1. 参加チーム数と構成

- (1) 各地区男女1チームまでとする。
- (2) 1チーム選手4名とする。(うち主将1名)

2. 競技方法

- (1) 使用コースは信州スカイパークみどりの交流ゾーンマレットゴルフコースとする
18ホールパー72ストロークプレイとする。

男子 … かもしかコース 女子 … らいちょうコース

- (2) 選手は同チームの選手と同グループでスタートしない。

3. 組合せ抽選

グループ組合せ、グループリーダー及びスタートホールについては主催者が決定する。

4. 順位

チーム全員の打数を合計した点数により順位を決定する。但し同点の場合はチーム年齢の合計が多いチームを上位とする。年齢も同数の場合は代表者によるプレーオフによって順位を決める。

5. 失格事項

前のグループを追い越してプレーしたグループと、プレーするコースを間違えたグループのメンバーは全員失格とする。

6. 受付

- (1) 受付時間 8:00~8:30 まで (時間厳守)
- (2) 参加者は地区別・男女別に必ず4名一緒に受付をする。
- (3) 受付で組合せ表・スコアカード・スコア提出カードを受け取る。

7. 開始式 <8:40 予定> 場所: みどりの交流ゾーンふれあいひろば

- (1) 組番号札前に組合せ順に並ぶ。
- (2) 閉会の辞が終わるまで列を乱さず、私語を慎むこと。

8. 競技進行

- (1) 開始式終了後、10分前後を確認のうえスタートする。
- (2) ローテーションは男女とも18番が終了した後1番に戻り、残りのホールを行う。
- (3) グループリーダーは組合せの先頭が行う。
- (4) 競技中のトラブルは、グループリーダーを中心にその場で解決処理する。
- (5) 全員打ち終わるまで絶対に前へ出ないこと。
- (6) 2打目より必ず打数を呼称すること。
- (7) ホールアウトしたら、速やかにコースの外に出て後続の選手に合図し、全員でスコアを確認して各自記録する。
- (8) 判定員の指示に従うこと。
- (9) 競技が終了したら全員がスコアの確認をし、男女別に各自受付に提出用カードを提出する。
- (10) 全員がホールアウトするまで閉会式会場の近くで休憩する。
- (11) 成績集計は約30分の予定。

9. 閉会式 <11:30 予定> 場所: 開始式と同じ

- (1) 整列は地区別に、正面に向かって右側に男性、左側に女性が並ぶ。
- (2) 表彰は、男女優勝・準優勝・第3位まで行う。但し発表は10位まで行う。
- (3) 閉会の辞が終わるまで列を乱さず私語は慎むこと。

10. 松本市市民体育大会マレットゴルフ競技規則

当規則には、信州スカイパークみどりの交流ゾーンマレットゴルフコースのローカルルールを含む。

<競技規則>

- (1) 原則ノータッチプレイですが、ボールに砂、落ち葉などがついた時は、同伴者の了解を得て、マークをしてボールを拭く。
ボールがグリーン上にある時は、お先かマークする。
- (2) かもしか③番、らいちょう④番にマンホールがあるが、ボールが接触または上で止まった時は、ワンヘッド右か左に出して、無罰で打つ。
- (3) らいちょう⑤番、⑬番、⑱番は、第一打のボールの静止位置がわからないため、交替で見ること。
- (4) かもしか⑩番は、前の組が右側に移動した後ボールが入っても打ち込みにはならない。
- (5) OBは白杭と白杭の線上から出た時、OBゾーンの溝に入った時、黒杭に当たった時、植栽に入った時、ネットにタッチした時、すべてOB。かもしか⑦番、⑧番、⑨番はネットの前に板が張ってあるが、板に当たればOB。-1打罰で打ち直し。
- (6) 紐線がある時は直角に出して打てる。-無罰
- (7) 打順は、競技開始スタートホールはグループリーダーより順次メンバー順に打ち2打目からは、前のホールで打数の少ない方より打つ。
- (8) ボールは70-75φのものを使用する。予備球同型を必ず持参すること。
スティックは特に指定しないが、マレットゴルフ用のものを使用すること。
- (9) その他の規則は、通常のマレットゴルフ競技のルールに基づき行う。

<マナー>

- (1) 決められた時間には集合し、出場者は時間までに受付をする。
- (2) 参加者は、開・閉会式では私語を慎み厳粛な態度で臨む。
- (3) プレーヤーがアドレスしたときは競技者と応援者は静粛にする。
- (4) 同伴競技者が打ち終わるまでは、前方に出ないこと。
- (5) 打った後の足跡、ショットの穴は必ず整地しておくこと。
- (6) 競技中は、同伴者に不快感を与えるような言動は慎むこと。
- (7) 競技中は禁煙とする。